

『青鳥祭』 ～青春の思い出 笑顔と幸せ 咲き誇れ～

校長 高橋 馨

道を歩いていると水仙の白と黄色の花を見かけるようになりました。もう少しすると沈丁花の甘い香りが漂い始め、そのあとは南から順に桜の季節へと続いていきます。季節の移り変わりが、わかりにくくなったと言われますが、少しだけ気を付けて周囲に目を向けると、道端の木々や草花が気づかせてくれます。自然の力、美しさが私たちの心を癒やしてくれるようにも感じます。

1月18日(土)に、三軒茶屋校舎で2回目となる『青鳥祭』を実施いたしました。多目的室での学年発表や、展示・販売会場の分散など、施設面の制限が多い中での開催ではありましたが、保護者の皆様に回答いただいたアンケートからは、生徒たちの努力の成果がしっかりと伝わったことが読み取れ、とても嬉しく感じています。保護者の皆様には、生徒たちの発表に向けた事前の準備や支え、そして当日の参観に際しての配慮等、様々な面で御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。そのような支えのおかげで、生徒たちは積み重ねてきた練習・準備の成果をしっかりと発揮することができました。出番を終えた生徒の様子を見たく校内を回った際のことですが、発表や販売活動、接客対応など、緊張を乗り越えて自分の役割を果たした生徒達が戻ってきた教室を覗いてみると、やりきった後の達成感に溢れる充実した表情と、ホッとした安堵の表情、それらが合わさった成長を感じさせる何ともいえない表情が溢れる、とても素敵な光景が広がっていました。

このように体験活動を通して、逞しく成長していく子どもたちの姿を共有できる貴重な機会のひとつでもある青鳥祭ですが、来年度は職能開発科が3学年そろうこともあり、より多くの生徒の発表と保護者の参観を想定した工夫が必要になることが見込まれています。そのためには、参観された保護者の皆様の感想や御意見、気づかれたことがとても重要になってきます。来年度の青鳥祭に向け、アンケートへの回答がまだの方は、右のQRコードより御協力くださいますようお願いいたします。

青鳥祭を開催しました!



1月18日(土)に第68回青鳥祭を開催しました。仮設校舎での開催は2回目となります。今年度は普通科3学年、職能開発科2学年で実施し、学習成果発表や作業製品販売、カフェ営業を行いました。本番前は緊張からかドキドキする様子が多くみられましたが、本番後は練習の成果をきちんとお客様へ伝えられた達成感に包まれていました!ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

(石丸 文子)

【八丈分教室】藍染教室



八丈島で栽培された藍から作った沈殿藍を使ってバンダナの染色を行いました。たこ糸やビー玉を使って思い思いの模様を作りました。染液に浸す、空気にさらすを繰り返す、黄色→緑→青→深い藍色と変化していくバンダナの色に、皆ワクワクしながら臨みました。最後に水洗いして糸をほどく際には「おーー!!」「わー!!」と、驚きと喜びの声が響きました。

(大沼 匡平)